

連載寄稿

# 「育児と仕事の両立を」

川崎市議会議員 石田やすひろ

女性の社会進出が進まない理由として共働きと育児の関係を考える必要があり

ます。女性が育児を続け仕事をすることが可能な社会環境を整えることが求めら

れます。データによると、

働く女性の約7割が出産退職をしています。

出産退職の理由は、家事

育児を優先し自発的に退職

した割合が約5割で、仕事

と育児の両立が難しいと考

えた結果という割合が24・

2%となつています。政府

も次世代育成支援対策推進

法を平成17年に制定。育児

と仕事の両立を目指す方々

を、企業が職場環境を整え

るサポートを進めるよう道

しるべを立てました。

しかし、川崎市内の現状

をみますと、次世代育成支

援対策推進法に基づく基準

を満たした市内の企業（認

定事業所）はたった6社に

とどまっています。政策に

理解を示して認定を目指す

企業が少なければ制度の役

割を果たさないことになっ



馬絹社の豆まきに参加しました。宮前の福を呼びたいですね。

川崎市立犬蔵中学校卒業、明治大学大学院（公共政策修士）修了、国会議員の秘書を経て1999年28歳初当選。現在3期目。子育て支援策の強化や区役所機能の強化を推進する。その他、政策を議会で提案し多数実現をしている。議会発言後は、必ず駅頭や広報紙を作成しその内容について積極的に市政報告を実施。

その他 ブログ等は

市議会議員 石田やすひろ

検索

また、手本となるべき本  
行政機関でも育児支援策  
の1つ、父親の5日以上の  
連続育児休暇の取得率が25  
・8%と目標55%の半分以  
下。市職員を対象の特定事  
業主行動計画の2期目の  
今、実績こそ政策の実効性  
の証。職員にはその矜持を  
もって積極的に取り組んで  
いただきたいと思えます。